

生活環境の整備と村民の健康

増進をめざして

8億7610万円を投入

—昭和58年度一般会計予算—

昭和58年度の各会計予算は3月16日第一回定例村議会で決まりました。

本年は国の厳しい財政の影響を受けまして、一般会計予算は八億七千六百万円で、前年度比四千五百六十九万九千円(五%)の減となりました。

以下は、各会計予算のあらましです。

歳入

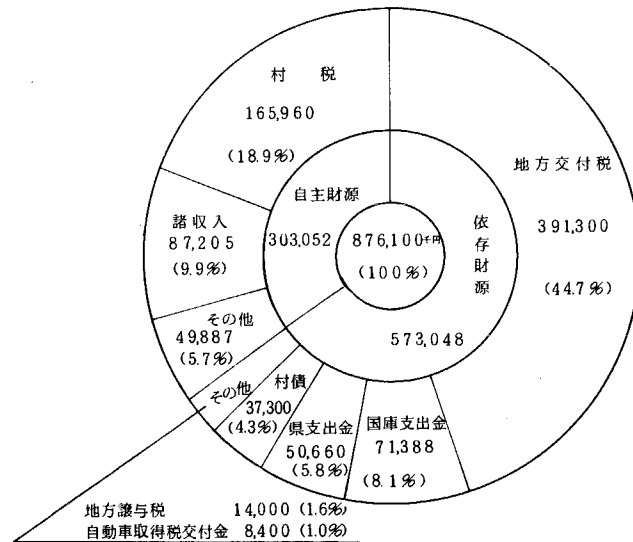
村税は前年比二四%増の一億六千五百九十六万円を見込みました。

地方交付税は、国の予算で四、九%の減となっています。村でも九%減の三億九千三百十万円を計上しました。歳入総額の四五%です。

国庫支出金は七百三十八万八千円、県支出金は五千六十六万円、前年度に比べて五千八百二十二万八千円の減となっておりますが、新農業構造改善事業の中止及び老人保健法の発足により老人医療費が特別会計へ移行したことによる減額です。

村債では三千七百三十万円

歳入予算の財源別構成 (単位 千円)



を計上しました。村債の内容は農村総合モデル事業債二千二百二十万円、生活環境衛生施設整備事業債七百五十万円、消防施設整備事業債五百五十万円、地盤沈下対策事業債二百十万円となっています。

歳出では人件費二億六千四百十四万円、物件費一億三千五百七十五万円、維持補修費一千十三万円、一部事務組合

歳出

の負担金その他補助金で六千二十五万円、公債費一億九百十七万円、扶助費一千三百五十八万円、建設事業費では補助事業費九千四百三十三万円、単独事業費二千八百九十五万円となっています。義務的経費といわれる人件費、扶助費、公債費で予算全体の四四%を占め財政の硬化化をきたしている現状です。

議会費

総額 三四、四二〇千円

総務費

総額 一一二、五〇八千円

村長交際費 七〇〇千円

村議会議員外選挙費

広報発行費 一、五四三千元

民生費

総額 九七、八八一千元

敬老会関係費 六八八千元
 老人世帯牛乳代 五九六千元
 児童手当 六、五五二千元

教育費

総額 一〇六、六九五千元

奨学金貸付金 一、三九二千元
 小学校サツシ取付工事外
 工事費 一、九三四千元
 中学校体育用具庫増築
 工事費 一、九〇〇千元
 社会教育費 五、三二一千元

公債費

総額 一〇九、二九六千元

償還元金 六七、三四〇千元
 償還利子 四一、八三六千元

予備費

総額 三、〇〇〇千元

保育園関係費五四、七〇一千元
 月寿荘関係費 五、九〇六千元

老人保健会計繰出金

白根衛生センター組合
 負担金 三一、〇二五千元

環境衛生対策事業補助
 一、一五二千元

食生活改善推進事業
 一、四二二千元

循環器等対策事業
 五、二六五千元

母子保健事業 三、一四九千元
 人間ドック助成 三五〇千元

農林水産業費

総額 一六七、五四七千元

有害鳥獣駆除費 七二八千元
 家畜伝染病予防対策費
 一、二二二千元

水田利用再編対策費
 六、九四五千元

地域農政特別対策事業
 四、五一九千元

就業改善センター運営費

衛生費

総額 五五、七一一千元

商工費

総額 一〇〇、二六九千元

農村総合整備モデル事業
 八三、七三八千元

四、二四九千元

農工商会運営補助二、九五〇千元
 街路灯更新補助 六二五千元
 録産地振興事業 三五〇千元
 地方産業育成資金 三八、〇〇〇千元
 中小企業近代化資金 二五、〇〇〇千元
 テニス場照明工事関係費 八、三四三千元

土木費

総額 四六、三一七千元

村道路台帳整備費 二、〇〇〇千元

除雪費 二、〇〇〇千元

敷砂利等 二、〇〇〇千元

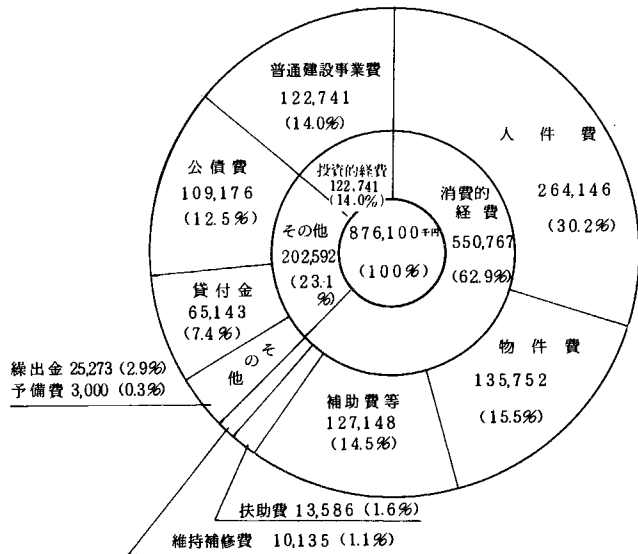
土木事業費 一四、〇〇〇千元

小規模事業宅地排水関連 二、五〇〇千元

負担金 二、五〇〇千元

国土調査関係費 八、八一六千元

歳出予算の性質別構成 (単位 千円)



消防費

総額 四二、四五六千元

防火水槽二基 四、〇〇〇千元

消火栓増設 一、五〇〇千元

白根地区消防事務組合 負担金 二四、三三二千元

積載車2台購入関係 三、八八五千元